



高崎まつりの交通規制
 時田 裕之
ときた ひろゆき
 (新風会)

質問 ことしの高崎まつりにおける高崎駅前の交通規制の時間や規制範囲は。また、今後は。

答弁 ことしは警察署や地元町内会の協力により土日の両日、交通規制を実施することができた。今後も、祭りの内容を充実させる中で、来場者の安全確保と渋滞緩和に最大限配慮し、適正な時間や範囲で規制できるように働きかけていく。

質問 浜川運動公園拡張整備事業の進捗とアクセス路の状況は。

答弁 都市公園の都市計画決定が済み、早期の用地取得に向けて地元関係者と協議している。また、アクセス路は周辺道路の交



非常勤職員の育児休業
 中島 輝男
なかじま てるお
 (市民クラブ)

質問 多くの女性が、出産や育児を契機に退職する現状がまだあり、育児と仕事を両立できる雇用環境の整備が必要である。国家公務員の非常勤職員は育児休業を取得できるが、本市の現状と今後の対応は。

答弁 本市の非常勤職員は、嘱託職員であれば産休が無給の休暇として認められている。育児の制度は設けていないが、国家公務員や他の自治体の状況を踏

質問 健康寿命を延ばすために公園の健康遊具が一役買ってくれると考えるが、増設の予定は。

答弁 背伸ばしベンチや平均台、懸垂器具などを市内各地の10公園に設置し、小学生から高齢者まで幅広い年代に利用いた

質問 音楽療法が治療や介護予防の手助けになると認められ始めているが、介護予防などの福祉に音楽療法を検討できないか。

答弁 音楽療法は、高齢者の健康づくりに十分有効と考える。



建設が進む新体育館

質問 旧箕郷町との合併協議での市営住宅に関する協議内容とその後は。

答弁 市営住宅、県営住宅、民間による住宅団地を複合的に整備する方針で、庁内検討会議を組織し候補地を研究してきた。整備の時期は西毛広域幹線道路の開通後としているが、状況の変化や公営住宅の必要性を見きわめながら、研究していく。

質問 箕郷地域の住宅弱者対策人と動物が幸せに暮らせるまち

丸山 覚
まるやま さとる
 (公明党)

質問 平成25年度から始まったまちなか商店リニューアル助成事業の実績と成果は。

答弁 25年度から3年間の合計で、1703件、11億7470万円の利用があり、27億4000万円が市内の事業費総額である。対象工事を市内業者に限定することで、市内経済の活性化、中小企業の事業主や従業員の仕事への意欲の向上、雇用の安定、定着につながっている。

質問 緊急災害時における国のガイドラインでは、ペットの同行避難が原則だが、本市の防災計画ではどうなっているのか。

答弁 ペットの取り扱い、原則避難所の生活の場への持ち込みは禁止だが、学校であれば、雨のからまない場所を飼育場所として利用することになると考える。今後、考えるべき課題と認識している。

質問 新体育館と城南野球場で大会が同時開催されると駐車場不足が問題となるが、駐車場の整備しピストン輸送する考えは。

答弁 新体育館は地下に200台の駐車場を整備予定だが、大会開催には周辺に駐車場整備が必要であり、城南野球場も高校野球地方予選時には、路上駐車問題が顕在化しているため、立体駐車場の整備が必要と考える。ピストン輸送については、利用状況も検証し研究していく。

質問 箕郷地域の住宅弱者対策人と動物が幸せに暮らせるまち

質問 緊急災害時における国のガイドラインでは、ペットの同行避難が原則だが、本市の防災計画ではどうなっているのか。

答弁 ペットの取り扱い、原則避難所の生活の場への持ち込みは禁止だが、学校であれば、雨のからまない場所を飼育場所として利用することになると考える。今後、考えるべき課題と認識している。

質問 新体育館と城南野球場で大会が同時開催されると駐車場不足が問題となるが、駐車場の整備しピストン輸送する考えは。

答弁 新体育館は地下に200台の駐車場を整備予定だが、大会開催には周辺に駐車場整備が必要であり、城南野球場も高校野球地方予選時には、路上駐車問題が顕在化しているため、立体駐車場の整備が必要と考える。ピストン輸送については、利用状況も検証し研究していく。



自転車の交通安全教育 危険道路の安全対策

わたなべ かんじ
渡邊 幹治
(新風会)

質問 近年、自転車での重大な事故が増えている。まず、自転車を利用する人が交通ルールを理解し、交通安全に気をつけなければならぬが、学校における自転車の交通安全教育は。

答弁 毎年、小学校3年生を対象に和田橋交通公園で自転車交通安全教室を実施し、実技訓練で正しい乗り方を指導している。中学校では交通安全教育のほか登下校時に通学路で直接指導している。高等学校でもPTAと連携したマナーアップ運動や月1回の安全パトロール、警察署や交通安全協会の協力で交通安全教室を実施するなど、交通事故

防止に努めている。

質問 南八幡京ヶ島線は、一本松橋から倉賀野町上町西交差点までの1・1キロメートルの工事が残っている。この区間の既存の道路では交通量が急速に増え危険であるが、安全対策は。

答弁 この区間の道路は地域の生活道路であるとともに、小学校の通学路でもある。昨年度、通行車両に対する減速マークや通学路であることの路面標示など、安全対策を実施した。今後、歩行者の安全確保のため、路側帯の整備や大型車両の迂回表示など、警察署など関係部署とともに安全対策を実施したい。



危険箇所総点検 ラジオ高崎の難聴地域対策

おさかへ しんじ
長壁 真樹
(市民クラブ)

質問 近年の異常気象などで土砂災害や河川の氾濫等の自然災害が懸念されるが、危険箇所総点検の結果と今後の取り組みは。

答弁 対応が必要と判断された箇所が166か所あり、対応済みが120か所、対応中が34か所、県等と協議中が12か所ある。今後も総点検を継続的に行っていくことが重要と考える。また、新たに危険箇所が発見された場合、速やかな対応を図り、災害

発生の防止に努めていきたい。

質問 災害時の市民への情報伝達方法としてラジオ高崎が有効と考えるが、難聴地域の対策は。

答弁 スマートフォンにラジオ高崎という無料のアプリケーションをインストールすると、インターネットを通じてラジオ高崎の放送を聞くことが可能となる。スマートフォンをお持ちの方全員にインストールをお願いしたいと考えている。

質問 防犯カメラは、適正な管理と運用が求められるが、本市の運用方法は。

答弁 録画は1週間以上書き、古い記録を順次消去している。



地域防災体制 烏川を生かしたまちづくり

みしま くるみこ
三島 久美子
(無所属)

質問 指定避難所である小・中学校や公民館などの休日や夜間などの施設設備の状況や水や食料等の必要物資の備蓄状況は。

答弁 指定避難所の近隣に居住する市職員を担当職員に選任し、避難所の施設管理者と協力した開設体制をとり、原則として休日や夜間は市職員が開設する。また、必要な乾パン、水、ラジオなどは常備しており、本庁や

また、モニター監視機能はなく、法令に基づくものや警察から画像提供の要請があった場合のみ、必要最小限の範囲で情報提供を行う。

各支所には、発電機や簡易トイレ、食料なども備蓄している。

質問 避難所運営に当たり、ペットの対応はどう扱うのか。

答弁 ペットと一緒に避難してきた場合、避難所の一部を飼育場所として利用したいと考えて



マイナンバー制度のセキュリティ対策 金井沢碑や山上碑の周辺整備

しんぼ かつよし
新保 克佳
(公明党)

質問 マイナンバー制度が始まるが、不正を防ぐためのセキュリティ対策は。

答弁 番号が漏洩して不正使用されないよう、自己管理の周知を関係団体と連携し検討したい。

また、カードの紛失等で漏洩が考えられる場合は、使用を一時的に停止できるほか、カードのICチップにはプライバシー性の高い情報は記録されていないため悪用は難しい。本市もセキュリティ対策に万全を期した上で、市民の利便性向上につながるカードの利用を検討したい。

質問 期日前投票所が遠く不便な地域がある。市内複数箇所に

いるが、衛生環境上、避難者が寝起きをする場所へのペットの持ち込みは禁止している。

質問 烏川を生かした自然環境学習や防災拠点としての機能を持たせ、川の駅として整備し、かわまちづくり計画をさらにバージョンアップしていく考えは。

答弁 かわまちづくり計画による水辺空間の施設整備が整うと、街中だけでなく、河川敷からのアクセスも可能となり、いわゆる川の駅としての利用もできるため、烏川の水辺空間のバージョンアップにつながると考える。

短期で開設し、巡回する形の期日前投票所の増設はできないか。

答弁 人が集まりやすく利便性の高い公共施設などへの期日前投票所の開設を研究している。

短期の期日前投票所の開設も有効策として合わせて研究したい。

質問 金井沢碑や山上碑へは今後さらに来訪者が見込まれるが、あずまやなど今後の整備方針は。

答弁 あずまやを含めた環境整備やアクセス整備を関係部局と連携し研究したい。また、本年度は上野三碑の専用ホームページを開設、ロゴマークを選定した。こうした三碑の価値を発信するソフト事業も充実させたい。



烏川を生かしたまちづくりを